144/430MHz
DIGITAL/ANALOG TRANSCEIVER

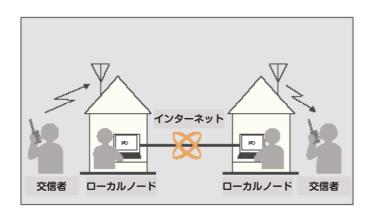
C4FM FDMA

取扱説明書
（WIRES-X 編 ）

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書には「WIRES-X」に関しての説明が記載されています。
基本的な操作に関しての説明は、本製品に同梱の取扱説明書をお読みください。
この取扱説明書に記載の社名・商品名などは、各社の商標または登録商標です。
本機を使用するためには、総務省のアマチュア無線局の免許が必要です。
また、アマチュア無線以外の通信には使用できません。

目次

WIRES-X とは？

WIRES（Wide-coverage Internet Repeater Enhancement System）は、アマチュア無線のカバー範囲を広げるための、インターネットを利用した通信システムです。電波信号をインターネットで中継することで、電波の届かない遠距離の無線局同士をつなぎます。
WIRES では、パソコンを通してインターネットに接続した無線局（ローカルノード）が、通常の無線局の交信を仲介するアクセスポイントとなります。ローカルノード同士がインターネット上で接続していれば、通常の無線局はローカルノードに接続するだけで、世界中のアマチュア無線局と交信できます。

さらに、WIRES でデジタル通信に対応したのが WIRES-X です。従来のフォーンパッチ運用に加え、デジタル化されたテキストや画像、音声などのデータを送受信できます。

本機では、アナログ、デジタルを問わず、WIRES-X を使って交信圏外の無線局と交信できます。デジタル通信モードでは、ノード局をコールサインやキーワードで検索したり、メッセージや位置情報などをやりとりできます。
また、本機では WIRES-X を GM（グループモニター）機能と同時に使うことができますので、ローカルノードを含めたグループを組むことで、より広範囲をカバーするネットワークを作ることもできます。

● 当社ですでに提供しているサービス「WIRES-II」のノードには、WIRES-X を使って接続することはできません。また、WIRES-II を使って WIRES-X のノードに接続することもできません。

用語について

■ ノード

パソコンを通してインターネットに接続した中継専門の無線局。通常の無線局の交信を仲介するアクセスポイントとなります。

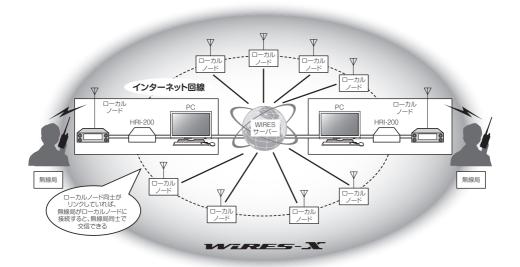
●ローカルノード

通常の無線局から電波が届く範囲にあるノードのこと。

●アナログノード

使用している無線機やレピーターが従来の FM 方式のノードのこと。このノードでは DTMF（dual tone multi frequencies）コードとアナログ音声の送受信だけを中継できます。

●デジタルノード

C4FM（4 値周波数偏移変調）方式のデジタル通信に対応した無線機やレピーターを使用しているノードのこと。このノードでは、音声での交信だけでなくテキストや画像などのデータをやり取りすることができます。また、DTMF コードとアナログ音声の送受信も中継できます。

■ WIRES-X ユーザー ID

当社が WIRES-X のノードに付与する識別名。1 つのノードに対して DTMF ID（5 桁の数字）とユーザー ID（最大 10 桁の英数文字列）の 2 種類が割り当てられます。
接続したいノードの ID を知っていれば、無線機から DTMF コードを発信したり、文字列で検索したりして（デジタルのみ）、接続先を直接指定することができます。

●ID リスト

当社のウェブサイトで公開している、WIRES 運用中のノードとルームの一覧。ID のほか、コールサインや運用周波数などの情報が掲載されています（ノードやルームオーナーの意向により一部公開していない場合があります）。

■ ルーム（Round QSO Room）

複数のノードが同時に接続できる、WIRES システム上のコミュニティスペース。音声での会話のほか、ノードからはパソコンでのチャットもできます。

●オープンルーム

接続できるノードを限定しないルームのこと。

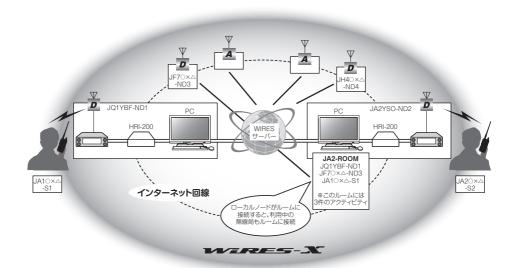
●クローズドルーム

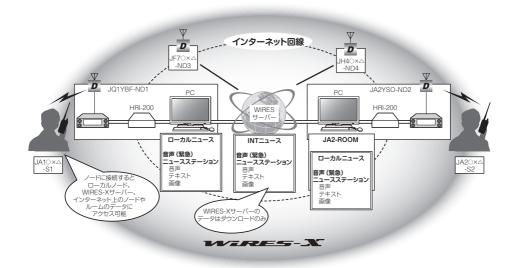
メンバー登録したノードだけが接続できるルームのこと。

●オーナー

ルームを開設して管理・運営しているノードのこと。

●アクティビティ

ルームに現在接続中のノードのこと。

■ ニュース機能

ノードのパソコンにデジタルデータ（テキスト、画像、音声）を保管し、接続したデジタル無線機から利用できるようにした仕組み。
デジタル無線機は、ローカルノード（LOCAL NEWS）、接続先のノードやルームのデータ保管場所（ニュースステーション）にアクセスして、各種データの書き込み（アップロード）や読み出し（ダウンロード）ができます。
ノードやルームオーナーは、自局のデータをパソコンから読み書きできるほか、データの削除や名前・属性の変更などもできます。
なお、WIRES-X サーバー自身のニュースステーション（INT NEWS）もあり、当社が掲載するお知らせやデータを読み出していただけます。

■ プリセットサーチ機能

ローカルノードに接続するときに使うチャンネルを無線機に登録（プリセット）しておくと、WIRES-X を起動したときに自動的にそのチャンネルをスキャンする仕組み。
次のような使いかたができます。

- いつもアクセスするローカルノードの周波数をプリセットして、すばやく接続する
- 仲間のノード同士で申し合わせた周波数をプリセットして、移動先でも交信圏内にあるローカルノードにすばやく接続する

ノード側も、無線機を 2 台使ってプリセットサーチチャンネル（待ち受け専用）とボイスチャンネル（運用チャンネル）を使い分けることができます。

WIRES-X を使って遠方の無線局と交信する

ローカルノードを見つける

本機で WIRES-X を使って交信するには、本機から電波の届く範囲に WIRES-X ノード局(ローカルノード)が開設されている必要があります。

WIRES-X ノード局は、当社にユーザー登録していただいた有志の無線局です。所在地や運用形態などの一覧を、当社ホームページに掲載しております。
https://www.yaesu.com/jp/wires-x/index.php

まずはこの一覧で、お近くのローカルノードと、交信したい相手局が利用するインターネット上のノードを探して、名前や周波数を控えておきます。
また、接続方法が異なりますので、ノードがデジタル局かアナログ局かも確かめておきます。

- ローカルノードがデジタル局のとき
  本機からはデジタルモードで接続します。
  (インターネット上のノードはデジタル、アナログどちらでも接続できます。)
- ローカルノードがアナログ局のとき
  本機からはアナログモードで接続します。
  (インターネット上のノードもアナログ局とだけ接続できます。)

デジタルモードで接続する

WIRES-X をご使用の前に、[WIRES-X] を押して A バンド(上段)の通信モードを「FM」以外にしてください。詳しくは、基本編取扱説明書の『通信モードを切り替える』を参照してください。

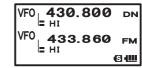
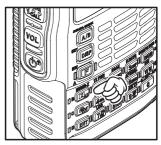
ローカルノードに接続する

1 [DIAL] をまわして、接続したいローカルノードの周波数に A バンドをあわせる

参考 テンキーで周波数を直接入力できます。入力後、[ENT] を押してください。

2 [WIRES-X] を 1 秒以上押す

周波数表示の左側に「***X***」が点滅します。

X 430.800 DN
HI
VFO 433.860 FM
HI

ローカルノードが見つかると「***X***」が点灯し、名前と都市名が画面の下段に表示されます。

参考 状況によって表示が異なります。以下の 4 つのパターンがあります。

① ローカルノードに接続時、インターネット上のノードやルームに未接続の場合(過去にインターネット上のノードやルームに接続したことがない場合)の表示

X 430.800 DN
HI
JQ1YBG-ND1 SHINAGAW

② ローカルノードに接続時、インターネット上のノードやルームに未接続の場合(過去にインターネット上のノードやルームに接続したことがある場合)の表示

X 430.800 DN
HI
JQ1YBG-ND1 SHINAGAW
JA2YSO-ND2 NAGOYA

③ ローカルノードに接続時、インターネット上のノードやルームに接続中の場合(過去に接続したインターネット上のノードやルームと同じ接続先の場合)の表示

X 430.800 DN
HI
JQ1YBG-ND1 SHINAGAW
JA2YSO-ND2 NAGOYA

④ ローカルノードに接続時、インターネット上のノードやルームに接続中の場合(過去に接続したインターネット上のノードやルームと異なる接続先の場合)の表示

▶が表示されているときに DIAL をまわすと、過去に接続したインターネット上のノードやルームのコールサインが点滅表示します。

430.800 DN
HI
JQ1YBG-ND1 SHINAGAW
▶JA1ZRL-789 SHINAGAW

430.800 DN
HI
JQ1YBG-ND1 SHINAGAW
▶JA2YSO-ND2 NAGOYA

参考 「*X*」が点滅中に WiRES-X を短押しすると、再度ローカルノードへの接続を行います。

参考 ローカルノードが見つからない場合は、5 分後に「*X*」が消えます。

参考 見つかったローカルノードがレピーター局のときは、「*X*」の下部に「*[R]*」が表示されます。

430.800 DN
[R] HI
JQ1YBG-ND1 SHINAGAW

WIRES-X は、A バンドでだけ使うことができます。
操作バンドが B バンド(下段)のときに WiRES-X を 1 秒以上押すと、自動的に A バンド(上段)が操作バンドになります。

インターネット上のノードやルームに接続する

次のいずれかの方法でご希望のノードやルームに接続できます。

- 接続可能なノードとルームの一覧から選んで接続する
- ノード名またはルーム名を指定して接続する
- 最後に接続したノードまたはルームに接続する
- 接続先のノードやルームの DTMF ID を指定して接続する

●ノードやルームの一覧から探す

1 接続先が表示されている状態で ENT を 1 秒以上押す

ローカルノードのメニューリストが表示されます。

430.800 DN
HI
JQ1YBG-ND1 SHINAGAW

2 DIAL をまわして「ALL」を選ぶ

3 ENT を押す

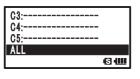
接続可能なノードとルームの一覧が表示されます。

参考 ・一覧が表示されるまでの間「Waiting」が点滅表示されます。
・接続先は、ルームの一覧、ノードの一覧の順に表示されます。
・接続先のルームの行では右端にアクティビティ数(接続中のノードの数)が表示されます。

4 DIAL をまわして接続先を選ぶ

5 ENT を押す

接続が始まり、「Waiting」が点滅表示されます。

参考 ENT のかわりに PTT を押して通話しながらの接続もできます。

接続に成功すると「Connected」が表示されたあと、接続先ノードのメニューリストが表示されます。

参考 接続できなかった場合はエラーメッセージが表示されたあと、ノードとルームの一覧に戻ります。
エラーメッセージについては、『エラーメッセージ一覧』(45 ページ)を参照してください。

セットモードの「7 WIRES-X」→「3 SEARCH SETUP」で、一覧の表示順をアクティビティ数またはアクセス履歴から選べます。

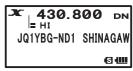
●ノード名やルーム名から探す

1 接続先が表示されている状態で ENT を 1 秒以上押す

ローカルノードのメニューリストが表示されます。

2 DIAL をまわして「SEARCH & DIRECT」を選ぶ

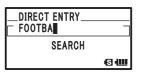
3 ENT を押す

文字入力画面が表示されます。

4　テンキーで接続先のユーザー ID またはルーム名の一部または全部を入力する

入力した文字が画面に表示されます。

参考 ・次の表を参照して、16 文字以内で入力します。

数字キー	英数字半角
1	1
2	ABC2
3	DEF3
4	GHI4
5	JKL5
6	MNO6
7	PQRS7
8	TUV8
9	WXYZ9
0	0

・文字を修正するときは [MW F] を押します。[MW F] を押すと、文字が削除されカーソルが左へ移動します。

・[ENT] を押すとカーソルが右へ移動します。

・「-」や「/」は [DIAL] をまわして選択します。

5　[ENT] を 1 秒以上押す

「SEARCH」が選ばれた状態になります。

6　[ENT] を押す

接続先のサーチが始まり、「Waiting」が点滅表示されます。部分的に名前が一致 (前方一致) する接続先があると、一覧で表示されます。

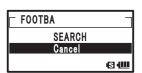
参考 ・一致する接続先がなかった場合は「No Matches」と表示されたあと、SEARCH 表示画面に戻ります。

・修正する場合、[DIAL] をまわして「Cancel」を選び、[ENT] を押して表示される文字入力画面で修正できます。

・完全に名前が一致する接続先があると、すぐに接続が開始されます。

・検索結果は、ルームの一覧、ノードの一覧の順に表示されます。

・検索結果のルームの行では右端にアクティビティ数(接続中のノードの数)が表示されます。

7 DIAL をまわして接続先を選ぶ

8 ENT を押す

接続が始まり、「Waiting」が点滅表示されます。

参考 ENT のかわりに PTT を押して通話しながらの接続もできます。

接続に成功すると「Connected」が表示されたあと、接続先ノードのメニューリストが表示されます。

参考 接続できなかった場合はエラーメッセージが表示されたあと、ノードとルームの一覧に戻ります。
エラーメッセージについては、『エラーメッセージ一覧』(45 ページ)を参照してください。

セットモードの「7 WIRES-X」→「3 SEARCH SETUP」で、一覧の表示順をアクティビティ数またはアクセス履歴から選べます。

●最後に接続したノードやルームに接続する

過去にインターネット上のノードやルームに接続したことがあると、画面の下段に最後に接続したノードやルームが点滅表示されます。
このとき ENT を押すと接続が開始され、接続に成功すると、接続先ノードのメニューリストが表示されます。
下段のノード名の前に▶があるときは、DIAL をまわすと最後に接続したノードが表示されます。

参考 接続できなかった場合は、エラーメッセージが表示されたあとで点滅表示に戻ります。
エラーメッセージについては、『エラーメッセージ一覧』(45 ページ)を参照してください。

●接続先のノードやルームの DTMF ID を指定する

DIRECT ENTRY
#

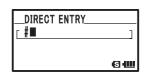
1 MW F を押す

2 DW V/M を押す

DTMF 入力画面が表示されます。

3 DTMF ID(5 桁)を入力する

4 ENT を 1 秒以上押す

参考 DW V/M を押すと、DTMF 入力画面がキャンセルされます。

交信する

1　接続先が表示されている状態で PTT を押す

本機が送信状態になります。

430.800 DN
HI
JQ1YBG-ND1 SHINAGAW
JA2YSO-ND2 NAGOYA

2　[MIC] に向かって話す

参考　マイクから 5cm ほど離して話してください。

注意　長時間の連続送信はできるだけ避けてください。本体の温度が上昇して、発熱などの原因で故障ややけどの原因になります。

3　PTT を放す

本機が受信状態になります。

デジタルモードでニュース機能を使ってインターネット上のノードまたはルームのデータを閲覧しているとき(21 ページ)も、PTT を押すと接続先と交信できます。

デジタルモードでの便利な機能

プリセットチャンネルを使う

あらかじめチャンネル周波数を登録(プリセット)しておくことにより、簡単にローカルノードに接続できます。
仲間のノード同士でチャンネル周波数を申し合わせておけば、移動先でも簡単にローカルノードに接続できるので、グループでの運用などに便利です。

●プリセットチャンネルを登録する

1　SET DISP を 1 秒以上押す

セットモードに切り替わります。

2　DIAL をまわして「7 WIRES-X」を選ぶ

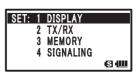
3　ENT を押す

メニューリストが表示されます。

4　DIAL をまわして「2 RPT/WIRES FREQ」を選ぶ

5　ENT を押す

選択項目が表示されます。

6 DIAL をまわして「PRESET」を表示する

2 PRT/WIRES FREQ
► PRESET

参考 ・DIAL をまわすたびに「MANUAL」と「PRESET」が切り替わります。
・工場出荷時：MANUAL

7 ENT を押す

周波数が表示されます。

8 DIAL をまわして周波数を選ぶ

2 PRT/WIRES FREQ
145.600

参考 ・DIAL を回すと、セットモードで設定したステップ周波数ごとに変化します。MW F を押して DIAL を回すと 1MHz ずつ変化します。
・SCOPE BND DN BAND を押すと、プリセット周波数のバンドが切り替わります。
・工場出荷時：A バンド 145.780、B バンド 438.980

9 SET DISP を 4 回押す

周波数が設定され、周波数表示画面に戻ります。

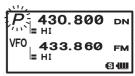
●プリセットチャンネルに接続する

1 『プリセットチャンネルを登録する』の手順にしたがって、プリセットチャンネルを使えるようにしておく

2 WiRES-X DX を 1 秒以上押す

周波数表示の左側に「*P*」が点滅します。

ローカルノードが見つかると「*X*」が点灯し、名前と都市名が画面の下段に表示されます。

参考 ローカルノードが見つからない場合は、5 分後に「*P*」が消えます。

見つかったローカルノードが、プリセットチャンネルの周波数と異なる場合は、ノードの周波数に自動的に切り替わります。

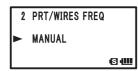
●プリセットチャンネルで探すのをやめる

1 『プリセットチャンネルを登録する』の手順 1 ～ 5 にしたがって、「2 RPT/WIRES FREQ」の選択項目を表示する

2 DIAL をまわして「MANUAL」を表示する

参考 DIAL をまわすたびに「MANUAL」と「PRESET」が切り替わります。

3 SET DISP を 3 回押す

周波数表示画面に戻ります。

登録したノードやルームに接続する

インターネット上のノードやルームの名前を、5 つのカテゴリーに分類してメモリーしておくことができます。それぞれのカテゴリーにはノードやルームを 20 個まで登録できます。

●カテゴリー名を登録する

1 SET DISP を 1 秒以上押す

セットモードに切り替わります。

2 DIAL をまわして「7 WIRES-X」を選ぶ

3 ENT を押す

メニューリストが表示されます。

SET: 7 WIRES-X
8 CONFIG
9 APRS
10 SD CARD

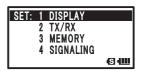
4 DIAL をまわして「4 EDT CATEGORY TAG」を選ぶ

5 ENT を押す

カテゴリー名を設定する画面が表示されます。

6 DIAL をまわして「C1」～「C5」のいずれかを選ぶ

7 ENT を押す

文字入力画面が表示されます。

8　テンキーでカテゴリー名を入力する

画面中央に入力した文字が表示されます。

4 EDT CATEGORY TAG
YAESU

参考 ・次の表を参照して、カテゴリー名を 16 文字以内で入力します。

数字キー	英数字半角	カタカナ半角
1	1	ｱｲｳｴｵ
2	abc2ABC	ｶｷｸｹｺ
3	def3DEF	ｻｼｽｾｿ
4	ghi4GHI	ﾀﾁﾂﾃﾄ
5	jkl5JKL	ﾅﾆﾇﾈﾉ
6	mno6MNO	ﾊﾋﾌﾍﾎ
7	pqrs7PQRS	ﾏﾐﾑﾒﾓ
8	tuv8TUV	ﾔﾕﾖ
9	wxyz9WXYZ	ﾗﾘﾙﾚﾛ
0	0_-%/?!.:#	ﾜｦﾝ

・文字を修正するときは [MW F] を押します。[MW F] を押すと、文字が削除されカーソルが左へ移動します。
・[ENT] を押すとカーソルが右へ移動します。
・「-」や「/」は [DIAL] をまわして選択します。
・英数字半角とカタカナ半角は、セットモードの「7 WIRES-X」→「1 LANGUAGE」で切り替えます。

9　[ENT] を 1 秒以上押す

カテゴリー名を設定する画面に戻ります。入力したカテゴリー名が表示されます。

参考 他のリストにもカテゴリー名を設定する場合は、手順 6 ～ 9 を繰り返します。

10　[SET DISP] を 3 回押す

カテゴリー名が設定され、周波数表示画面に戻ります。

●ノードやルームを登録する

1　接続先のノードまたはルームに接続する

2　接続先が表示されている状態で [ENT] を押す

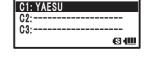
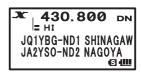
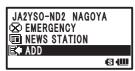
接続先ノードのメニューリストが表示されます。

3　[DIAL] をまわして「ADD」を選ぶ

4　[ENT] を押す

カテゴリーの一覧が表示されます。

5 DIAL をまわしてカテゴリーを選ぶ

C1: YAESU
C2: NAGOYA
C3: SHINAGAWA
C4: NAGANO

6 ENT を押す

接続先の一覧が表示され、接続中のノードまたはルームの名前が追加されます。

7 DIAL をまわして「BACK」を選ぶ

8 ENT を押す

メニューリストに戻ります。

●登録したノードやルームに接続する

1 ENT を 1 秒以上押す

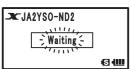
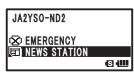
ローカルノードのメニューリストが表示されます。

430.800 DN
HI
JQ1YBG-ND1 SHINAGAW

2 DIAL をまわして「C1」〜「C5」を選ぶ

3 ENT を押す

「Waiting」が表示され、ノードとルームの一覧が表示されます。

C1: YAESU
C2: NAGOYA
C3: SHINAGAWA
C4: NAGANO

参考 ルームの行では右端にアクティビティ数（接続中のノードの数）が表示されます。

4 DIAL をまわして接続先を選ぶ

5 ENT を押す

接続が始まり、「Waiting」が点滅表示されます。

参考 ENT のかわりに PTT を押して通話しながらの接続もできます。

接続に成功すると「Connected」が表示されたあと、接続先ノードのメニューリストが表示されます。

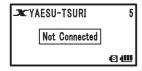
参考 接続できなかった場合はエラーメッセージが表示されたあと、ノードとルームの一覧に戻ります。
エラーメッセージについては、『エラーメッセージ一覧』（45 ページ）を参照してください。

セットモードの「7 WIRES-X」→「3 SEARCH SETUP」で、一覧の表示順をアクティビティ数またはアクセス履歴から選べます。

●接続したノードやルームを切断する

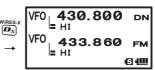
1 SCOPE BND DN BAND を 1 秒以上押す

切断に成功すると「Not Connected」が表示されます。

参考 「Not Connected」が表示されたあと、ローカルノード接続画面に戻ります。

WIRES-X の運用を終了する

WiRES-X を 1 秒以上押すと周波数表示画面に切り替わり、周波数表示の左側にあった「*X*」が消えます。

参考 ローカルノードと接続先ノードやルームは接続されたままです。

WiRES-X →

アナログノードに接続する

接続したいノードがアナログ局の場合は、本機の DTMF 機能を使って接続します。DTMF 機能の詳しい使い方は、基本編取扱説明書の『DTMF 機能を使う』を参照してください。

インターネット上のノードやルームに接続する

1 メインバンドの周波数を、ローカルノードの周波数にあわせる

2 WiRES-X を押して、アナログ FM モードに切り替える

参考 詳しくは、基本編取扱説明書の『通信モードを切り替える』を参照してください。

3 PTT を押しながら、接続したいノードやルームの DTMF ID のキーを押す

DTMF コードが送出されます。

4 PTT を放して、約 10 秒間受信状態にする

接続されると、音声が聞こえるようになります。

注意 接続先を表示する画面はあらわれません。

本機では、最大 16 桁の DTMF コード 10 チャンネル分をメモリーできます。よく使う接続先のコードをメモリーしておけば、PTT を押しながら短縮番号を押すだけで、コードを簡単に送出できます。詳しくは、基本編取扱説明書の『DTMF 機能を使う』を参照してください。

交信する

1 PTT を押す

本機が送信状態になります。

2 [MIC]に向かって話す

参考 マイクから 5cm ほど離して話してください。

注意 長時間の連続送信はできるだけ避けてください。本体の温度が上昇して、発熱などの原因で故障ややけどの原因になります。

3 PTT を放す

本機が受信状態になります。

接続したノードやルームを切断する

PTT を押しながら、#99999(DTMF の切断コマンド)のキーを押します。

さまざまな表示機能

デジタルノードの位置を確認する

接続したローカルノードの信号に GPS による位置情報が含まれている場合は、それを表示して確認できます。

接続先を表示する画面のときに MW F を押し、MW F が表示中に SET DISP を押すとコンパス画面に切り替わり、自局から見たローカルノードの方向と、ローカルノードまでの距離が表示されます。もう一度 SET DISP を押すと、接続先を表示する画面に戻ります。

SET DISP

セットモードの「1 DISPLAY」→「2 TARGET LOCATION」で「NUMERIC」を選んでいるときは、コンパス画面の代わりに緯度経度表示画面が表示されます。

周波数を確認する

WIRES-X の画面を表示中に DW V/M を押すと、WIRES-X を使うまえに表示していた周波数表示画面に切り替わります。もう一度 DW V/M を押すと、WIRES-X の画面に戻ります。

【デュアルバンド表示のとき】

先頭に戻る

WIRES-X の画面を表示中に MONO/DUAL A/B を 1 秒以上押すと、WIRES-X 開始時の画面（先頭の画面）に戻ります。

WIRES-X のニュース機能を使う

デジタルモードで WIRES-X を使っているときは、メッセージ(テキスト)や画像のデータをやり取りしたり、音声メッセージの再生録音ができます。

メッセージを見る

ローカルノードまたはインターネット上のノードやルームが送受信したメッセージ(テキスト)を、本機で読むことができます。

- メッセージを読むときは、本機に microSD カードをセットしておいてください。詳しくは基本編取扱説明書の『microSD メモリカードを使う』を参照してください。

ローカルノードのテキストデータを見る

1 ENT を 1 秒以上押す

ローカルノードのメニューリストが表示されます。

2 DIAL をまわして「LOCAL NEWS」を選ぶ

3 ENT を押す

「Waiting」が表示されます。
データの取得に成功すると、ローカルノードの運用リストが表示されます。

4 いずれかを選択して ENT を押す

「Waiting」が表示されます。
データの取得に成功すると、ローカルノードのメニューリストが表示されます。

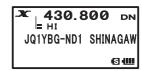
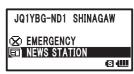
5 ENT を押す

送信(UPLOAD)または受信(DOWNLOAD)を選ぶ画面が表示されます。

6 DIAL をまわして「DOWNLOAD」を選ぶ

7 ENT を押す

データの種類を選ぶ画面が表示されます。

8 DIAL をまわして「MESSAGE」を選ぶ

9 ENT を押す

「Waiting」が表示されます。
データの取得に成功すると、データの一覧が表示されます。

参考 登録されているデータが新しい順に表示されます。

10 DIAL をまわしてメッセージを選ぶ

11 ENT を押す

「Waiting」が表示されます。
データの取得に成功すると DOWNLOAD が表示されます。データが取り込まれ、メッセージの内容が表示されます。

12 DIAL をまわして「BACK」を選ぶ

13 ENT を押す

データの一覧に戻ります。

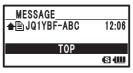
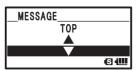
- 内容を表示している画面で SET DISP を押すと、データが書き込まれたときの送信元の位置情報を表示できます。
- 各画面で DIAL をまわすと最後に「BACK」が表示されます。「BACK」を選んで ENT を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

●データの一覧での操作

データの件数が多いときは、本のページが変わるように 20 件ごとに一覧が区切られます。それぞれの一覧の最後には、前後の一覧にジャンプするため次のような項目が表示されます。DIAL をまわして選び、ENT を押すと表示を切り替えることができます。

「TOP」 最初の一覧の先頭を表示します。

「▲」 前の一覧を表示します。
最初の一覧のときは、表示は変わりません。

「▼」 次の一覧を表示します。
最後の一覧のときは、表示は変わりません。

WIRES-X サーバー(INT NEWS)のテキストデータを見る

当社がWIRES-Xサーバーで提供しているテキスト情報を、本機で読むことができます。

1 ENT を 1 秒以上押す

ローカルノードのメニューリストが表示されます。

2 DIAL をまわして「INT NEWS」を選ぶ

3 ENT を押す

WIRES-X サーバーのメニューが表示されます。

4 ENT を押す

データの種類を選ぶ画面が表示されます。

5 DIAL をまわして「MESSAGE」を選ぶ

6 ENT を押す

データの一覧が表示されます。

参考 登録されているデータが新しい順に表示されます。

7 DIAL をまわしてメッセージを選ぶ

8 ENT を押す

「Waiting」が表示されます。
データの取得に成功すると DOWNLOAD が表示されます。データが取り込まれ、メッセージの内容が表示されます。

9 DIAL をまわして「BACK」を選ぶ

10 ENT を押す

データの一覧に戻ります。

インターネット上のノードやルームのテキストデータを見る

1 接続先が表示されている状態で ENT を押す

インターネット上のノードまたはルームのメニューリストが表示されます。

2 ENT を押す

送信（UPLOAD）または受信（DOWNLOAD）を選ぶ画面が表示されます。

3 DIAL をまわして「DOWNLOAD」を選ぶ

4 ENT を押す

データの種類を選ぶ画面が表示されます。

5 DIAL をまわして「MESSAGE」を選ぶ

6 ENT を押す

データの一覧が表示されます。

参考 登録されているデータが新しい順に表示されます。

7 DIAL をまわしてメッセージを選ぶ

8 ENT を押す

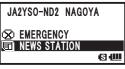
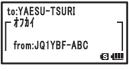
「Waiting」が表示されます。
データの取得に成功するとDOWNLOADが表示されます。データが取り込まれ、メッセージの内容が表示されます。

9 DIAL をまわして「BACK」を選ぶ

10 ENT を押す

データの一覧に戻ります。

内容を表示している画面で SET/DISP を押すと、データが書き込まれたときの送信元の位置情報を表示できます。

カテゴリーリストやデータの一覧を表示しているときに PTT を押すと、接続中のインターネット上のノードまたはルームへ音声を送信する状態になります。

画像を取り込む

ローカルノードまたはインターネット上のノードやルームが送受信した画像のデータを、本機に取り込むことができます。

- 画像を取り込むときは、本機に microSD カードをセットしておいてください。詳しくは基本編取扱説明書の『microSD メモリカードを使う』を参照してください。
- 取り込んだ画像は、本機では閲覧できません。画像を見るには、取り込んだあと microSD カードを本機から取り外し、パソコンなどにデータを移してください。

ローカルノードの画像データを取り込む

1 『ローカルノードのテキストデータを見る』の手順 1 〜 7 に従って、データの種類を選ぶ画面を表示する

2 DIAL をまわして「PICT」を選ぶ

3 ENT を押す

データの一覧が表示されます。

参考 登録されているデータが新しい順に表示されます。

4 DIAL をまわして画像を選ぶ

5 ENT を押す

画像の情報が表示されます。

6 DIAL をまわして「DOWNLOAD」を選ぶ

7 ENT を押す

データの取り込みが始まり、「DOWNLOAD」が点滅表示されます。

データの取り込みが終わると、「Completed」と表示されたあとデータの一覧に戻ります。

参考
・対応していない形式などのために画像が取り込まれなかった場合は「Not Completed」と表示され、データの種類を選ぶ画面に戻ります。
・microSD カードの空き容量が足りないために画像が取り込まれなかった場合は「Memory is full」と表示され、データの種類を選ぶ画面に戻ります。

WIRES-X サーバー(INT NEWS)の画像データを取り込む

当社が WIRES-X サーバーで提供している画像を、本機に取り込むことができます。

1 『WIRES-X サーバーのテキストデータを見る』の手順 1 ～ 4 に従って、データの種類を選ぶ画面を表示する

2 DIAL をまわして「PICT」を選ぶ

3 ENT を押す

データの一覧が表示されます。

参考 登録されているデータが新しい順に表示されます。

4 DIAL をまわして画像を選ぶ

5 ENT を押す

画像の情報が表示されます。

6 DIAL をまわして「DOWNLOAD」を選ぶ

7 ENT を押す

データの取り込みが始まり、「DOWNLOAD」が点滅表示されます。

データの取り込みが終わると、「Completed」と表示されたあとデータの一覧に戻ります。

参考
- 対応していない形式などのために画像が取り込まれなかった場合は「Not Completed」と表示され、データの種類を選ぶ画面に戻ります。
- microSD カードの空き容量が足りないために画像が取り込まれなかった場合は「Memory is full」と表示され、データの種類を選ぶ画面に戻ります。

インターネット上のノードやルームの画像データを取り込む

1 『インターネット上のノードやルームのテキストデータを見る』の手順 1 ～ 4 に従って、データの種類を選ぶ画面を表示する

2 DIAL をまわして「PICT」を選ぶ

3 ENT を押す

データの一覧が表示されます。

参考 登録されているデータが新しい順に表示されます。

4 『ローカルノードのデータを取り込む』の手順 4 ～ 7 に従って、データを取り込む

カテゴリーリストやデータの一覧を表示しているときに PTT を押すと、接続中のインターネット上のノードまたはルームへ音声を送信する状態になります。

取り込んだデータをあとから見る

ダウンロードしたデータはあとから確認することもできます。

1 ENT を 1 秒以上押す

ローカルノードのメニューリストが表示されます。

2 DIAL をまわして「LOG」を選ぶ

3 ENT を押す

データの種類を選ぶ画面が表示されます。

4 DIAL をまわして「MESSAGE」または「PICT」を選ぶ

5 ENT を押す

データの一覧が表示されます。

参考 登録されているデータが新しい順に表示されます。

6 DIAL をまわしてデータを選ぶ

7 ENT を押す

メッセージの内容、または画像の情報が表示されます。

8 DIAL をまわして「Cancel」を選ぶ

9 ENT を押す

データの一覧に戻ります。

取り込んだデータを整理する

●データを 1 件削除する

1 『取り込んだデータをあとから見る』の手順 1 ～ 7 に従って、メッセージの内容または画像の情報を表示する

to:YAESU-TSURI
ｵﾌｶｲ
from:JQ1YBF-ABC

2 DIAL をまわして「DELETE」を選ぶ

3 ENT を押す

4 DIAL をまわして「OK?」を選ぶ

5 ENT を押す

データが削除され、データの一覧に戻ります。

●すべてのデータを削除する

1 『取り込んだデータをあとから見る』の手順 1 ～ 5 に従って、データの一覧を表示する

NEW
JA1ZRL-789 16:15
JQ1YBF-ABC 12:06

2 DIAL をまわして「DELETE ALL」を選ぶ

3 ENT を押す

4 DIAL をまわして「OK?」を選ぶ

5 ENT を押す

データが削除され、データの一覧に戻ります。

音声メッセージを聞く

ローカルノードまたはインターネット上のノードやルームが送受信した音声のデータを、再生して聞くことができます。
音声データは次の 2 つのカテゴリーに分かれています。

EMERGENCY： 緊急の情報。ノードやルームでの設定により、情報が登録されてから 2 時間は 5 分間隔で接続中のノードやルームに強制配信されます。

NEWS STATION（LOCAL NEWS）：通常のメッセージ。ノードやルームで削除しないかぎり、いつでも聞くことができます。

本機では音声データを再生して聞くことができるだけで、保存することはできません。

ローカルノードの情報を聞く

●緊急の情報を聞く

1 『ローカルノードのテキストデータを見る』の手順 1 ～ 4 に従って、ローカルノードのメニューリストを表示する

2 DIAL をまわして「EMERGENCY」を選ぶ

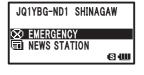
3 ENT を押す

データの一覧が表示されます。

参考 ・登録されているデータが新しい順に表示されます。
・登録から 2 時間以内のデータは点滅表示されます。

4 DIAL をまわして音声を選ぶ

5 ENT を押す

音声の再生が始まり、音声のタイトルが点滅表示されます。
再生が終わると、データの一覧に戻ります。

音声の再生中に SET DISP を押すと、音声が録音されたときの送信元の位置情報を表示できます。

●**通常のメッセージを聞く**

1 『ローカルノードのテキストデータを見る』の手順 1 ～ 7 に従って、データの種類を選ぶ画面を表示する

2 DIAL をまわして「**VOICE**」を選ぶ

3 ENT を押す

データの一覧が表示されます。

参考 登録されているデータが新しい順に表示されます。

4 DIAL をまわして音声を選ぶ

5 ENT を押す

音声の再生が始まり、音声のタイトルが点滅表示されます。
再生が終わると、データの一覧に戻ります。

音声の再生中に SET DISP を押すと、音声が録音されたときの送信元の位置情報を表示できます。

WIRES-X サーバー(INT NEWS)の情報を聞く

当社がWIRES-Xサーバーで提供している音声データを、再生して聞くことができます。

●**緊急の情報を聞く**

1 『WIRES-X サーバーのテキストデータを見る』の手順 1 ～ 3 に従って、WIRES-X サーバーのメニューリストを表示する

2 DIAL をまわして「**EMERGENCY**」を選ぶ

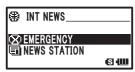
3 ENT を押す

データの一覧が表示されます。

参考 ・登録されているデータが新しい順に表示されます。
・登録から 2 時間以内のデータは点滅表示されます。

4 DIAL をまわして音声を選ぶ

5 ENT を押す

音声の再生が始まり、音声のタイトルが点滅表示されます。
再生が終わると、データの一覧に戻ります。

●通常のメッセージを聞く

1 『WIRES-X サーバーのテキストデータを見る』の手順 1 ～ 4 に従って、データの種類を選ぶ画面を表示する

2 DIAL をまわして「VOICE」を選ぶ

3 ENT を押す

データの一覧が表示されます。

参考 登録されているデータが新しい順に表示されます。

4 DIAL をまわして音声を選ぶ

5 ENT を押す

音声の再生が始まり、音声のタイトルが点滅表示されます。

再生が終わると、データの一覧に戻ります。

インターネット上のノードやルームの情報を聞く

●緊急の情報を聞く

1 『インターネット上のノードやルームのテキストデータを見る』の手順 1 に従って、接続先のメニューリストを表示する

2 DIAL をまわして「EMERGENCY」を選ぶ

3 ENT を押す

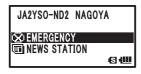
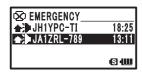
データの一覧が表示されます。

参考 ・登録されているデータが新しい順に表示されます。
・登録から 2 時間以内のデータは点滅表示されます。

4 DIAL をまわして音声を選ぶ

5 ENT を押す

音声の再生が始まり、音声のタイトルが点滅表示されます。

再生が終わると、接続先のメニューリストに戻ります。

音声の再生中に SET DISP を押すと、音声が録音されたときの送信元の位置情報を表示できます。

●通常のメッセージを聞く

1 『インターネット上のノードやルームのテキストデータを見る』の手順 1 ～ 4 に従って、データの種類を選ぶ画面を表示する

2 DIAL をまわして**「VOICE」**を選ぶ

3 ENT を押す

データの一覧が表示されます。

参考 登録されているデータが新しい順に表示されます。

4 DIAL をまわして音声を選ぶ

5 ENT を押す

音声の再生が始まり、音声のタイトルが点滅表示されます。

再生が終わると、データの一覧に戻ります。

音声の再生中に SET DISP を押すと、音声が録音されたときの送信元の位置情報を表示できます。

メッセージや画像を送る

本機にセットした microSD カードに保存されているメッセージ(テキスト)や画像を、ローカルノードまたはインターネット上のノードやルームに送ることができます。メッセージは、新しく作ったものを送ることもできます。

- microSD カードについては基本編取扱説明書『microSD カードをセットする』を参照してください。
- オプションのカメラ付スピーカーマイク「MH-85A11U」で撮影した写真を送ることもできます。写真の撮影については基本編取扱説明書『カメラ付スピーカーマイクで写真を撮影する』を参照してください。

ローカルノードに送る

●メッセージを作成して送る

1 『ローカルノードのテキストデータを見る』の手順 1 ～ 5 に従って、送信(UPLOAD)または受信(DOWNLOAD)を選ぶ画面を表示する

2 DIAL をまわして**「UPLOAD」**を選ぶ

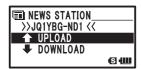
3 ENT を押す

データの種類を選ぶ画面が表示されます。

4 DIAL をまわして「MESSAGE」を選ぶ

5 ENT を押す

データの一覧が表示されます。

6 DIAL をまわして「NEW」を選ぶ

7 ENT を押す

文字入力画面が表示されます。

8 テンキーでメッセージを入力する

画面上部に入力した文字が表示されます。

参考 ・次の表を参照して、80 文字以内で入力します。

数字キー	英数字半角	カタカナ半角
1	1	ｱｲｳｴｵ
2	abc2ABC	ｶｷｸｹｺ
3	def3DEF	ｻｼｽｾｿ
4	ghi4GHI	ﾀﾁﾂﾃﾄ
5	jkl5JKL	ﾅﾆﾇﾈﾉ
6	mno6MNO	ﾊﾋﾌﾍﾎ
7	pqrs7PQRS	ﾏﾐﾑﾒﾓ
8	tuv8TUV	ﾔﾕﾖ
9	wxyz9WXYZ	ﾗﾘﾙﾚﾛ
0	0_-%/?!.:#	ﾜｦﾝ

・文字を修正するときは MW F を押します。MW F を押すと、文字が削除されカーソルが左へ移動します。
・ENT を押すとカーソルが右へ移動します。
・濁音 / 半濁音の文字、小文字などを入力する場合は、DIAL で文字を選択します。
・英数字半角とカタカナ半角は、セットモードの「7 WIRES-X」→「1 LANGUAGE」で切り替えます。

9 ENT を 1 秒以上押す

入力した内容を確認する画面が表示されます。

10 DIAL をまわして「UPLOAD」を選ぶ

11 ENT を押す

メッセージの送信が始まり、「UPLOAD」が点滅表示されます。

メッセージが受け付けられると「Completed」と表示され、データの一覧に戻ります。

文字入力画面で、DIAL をまわして定型文アイコン（☰）を選んで ENT を押すと、登録されている 43 個の定型文からメッセージが選択できます。

1	QRM	16	Merry Christmas!	31	OK!
2	QRP	17	ﾚﾝﾗｸ ｸﾀﾞｻｲ	32	NG!
3	QRT	18	MSG ｵｸｯﾃ	33	ﾘｮｳｶｲ！
4	QRX	19	PICT ｵｸｯﾃ	34	ｺﾞﾒﾝ！
5	QRZ	20	ﾏﾀ MSG ｵｸﾙﾈ	35	ﾀﾞｲｼﾞｮｳﾌﾞ！
6	QSY	21	ﾏﾀ PICT ｵｸﾙﾈ	36	ﾓｳｽｺｼﾏｯﾃﾃﾈ
7	ｱﾘｶﾞﾄｳｺﾞｻﾞｲﾏｼﾀ	22	ｵｸﾚﾏｽ	37	ｲﾏ QSO ﾃﾞｷﾅｲ
8	ｵﾊﾖｳｺﾞｻﾞｲﾏｽ	23	ｼﾞｭｳﾀｲﾃﾞｵｸﾚﾏｽ	38	ﾓｳｼﾜｹｱﾘﾏｾﾝ
9	ｵﾂｶﾚｻﾏﾃﾞｽ	24	ｽｸﾞｲｷﾏｽ	39	ﾖﾛｼｸｵﾈｶﾞｲｼﾏｽ
10	ｵﾋｻｼﾌﾞﾘﾃﾞｽ	25	ﾏｯﾃﾏｽ	40	ﾍﾝｺｳｼﾏｽ
11	ｺﾝﾆﾁﾊ	26	ﾑｶｴﾆｷﾃ！	41	ﾁｭｳｼｼﾏｽ
12	ｺﾝﾊﾞﾝﾊ	27	ｶﾞﾝﾊﾞｯﾃ!!	42	ｴﾝｷｼﾏｽ
13	ｵﾔｽﾐﾅｻｲ	28	Thank you!	43	ｼｷｭｳ
14	Happy birthday!	29	ｱﾘｶﾞﾄｳ		
15	A HAPPY NEW YEAR	30	ｺﾞﾒﾝﾅｻｲ		

●保存されているメッセージまたは画像を送る

1 『メッセージを作成して送る』の手順 1 ～ 3 に従って、データの種類を選ぶ画面を表示する

2 DIAL をまわして「MESSAGE」または「PICT」を選ぶ

3 ENT を押す

データの一覧が表示されます。

4 DIAL をまわしてメッセージまたは画像を選ぶ

5 ENT を押す

内容が表示されます。

6 DIAL をまわして「UPLOAD」を選ぶ

7 ENT を押す

データの送信が開始され、「UPLOAD」が点滅表示されます。
データが受け付けられると「Completed」と表示され、データの種類を選ぶ画面に戻ります。

インターネット上のノードやルームに送る

●メッセージを作成して送る

1　インターネット上のノードまたはルームのメニューリストを表示する

JA2YSO-ND2 NAGOYA
EMERGENCY
NEWS STATION

2　DIAL をまわして「NEWS STATION」を選ぶ

3　ENT を押す

送信(UPLOAD)または受信(DOWNLOAD)を選ぶ画面が表示されます。

4　DIAL をまわして「UPLOAD」を選ぶ

5　ENT を押す

データの種類を選ぶ画面が表示されます。

6　『ローカルノードに送る』の『メッセージを作成して送る』の手順 4 ～ 11 に従って、メッセージを作成して送る

●保存されているメッセージまたは画像を送る

1　『メッセージを作成して送る』の手順 1 ～ 5 に従って、データの種類を選ぶ画面を表示する

2　『ローカルノードに送る』の『保存されているメッセージまたは画像を送る』の手順 2 ～ 7 に従って、データを選んで送る

音声メッセージを送る

マイクロホンに向かって話した音声を、データとしてローカルノードまたはインターネット上のノードやルームに送ることができます。
音声データは次の 2 つのカテゴリーに分かれています。

EMERGENCY：緊急の情報。ノードやルームでの設定により、情報が登録されてから 2 時間は 5 分毎に接続中のノードやルームに強制配信されます。

NEWS STATION（LOCAL NEWS）：通常のメッセージ。ノードやルームで削除しないかぎり、いつでも聞くことができます。

ローカルノードに送る

●緊急の情報を送る

1　『ローカルノードのテキストデータを見る』の手順 1 ～ 4 に従って、送信(UPLOAD)または受信(DOWNLOAD)を選ぶ画面を表示する

2 DIAL をまわして「EMERGENCY」を選ぶ

3 PTT を押し続ける

「EMG UPLOAD?」が表示され、3 秒間ビープ音が鳴ります。

参考 PTT を放すと緊急情報の UPLOAD はキャンセルされます。

PTT を押し続けると、UPLOADとカウントダウンが画面に表示されます。

4 PTT を押したまま、[MIC]に向かって話す

参考 録音可能な時間は、最大 1 分間です。

メッセージの送信が開始され、画面にUPLOADとカウントダウンが点滅表示されます。

メッセージが受け付けられると「Completed」と表示され、ローカルノードのメニューリストに戻ります。

●通常のメッセージを送る

1 『ローカルノードのテキストデータを見る』の手順 1 ～ 5 に従って、送信(UPLOAD)または受信(DOWNLOAD)を選ぶ画面を表示する

2 DIAL をまわして「UPLOAD」を選ぶ

3 ENT を押す

データの種類を選ぶ画面が表示されます。

4 DIAL をまわして「VOICE」を選ぶ

5 PTT を押しながら、[MIC]に向かってメッセージを話す

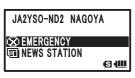
参考 録音可能な時間は、最大 1 分間です。

メッセージの送信が開始され、画面にUPLOADとカウントダウンが点滅表示されます。

メッセージが受け付けられると「Completed」と表示され、データの種類を選ぶ画面に戻ります。

インターネット上のノードやルームに送る

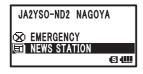
●緊急の情報を送る

1　インターネット上のノードまたはルームのメニューリストを表示する

2　『ローカルノードに送る』の『緊急の情報を送る』の手順 2、3 に従って、メッセージを送る

●通常のメッセージを送る

1　インターネット上のノードまたはルームのメニューリストを表示する

2　[ENT] を押す

送信（UPLOAD）または受信（DOWNLOAD）を選ぶ画面が表示されます。

3　『ローカルノードに送る』の『通常のメッセージを送る』の手順 3 ～ 6 に従って、メッセージを送る

WIRES-X と GM 機能を同時に使う

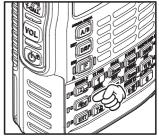
本機の GM(グループモニター)機能を使って運用しているときも、WIRES-X を使うことができます。ローカルノードを含めたグループを組んで GM 運用すると、グループメンバーも WIRES-X を通してインターネット上のノードやルームと交信したりデータをやり取りしたりできます。

ここでは、ローカルノードをグループメンバーに登録したときの使い方について説明します。
GM 機能の使い方の詳細は、別途用意している GM 編の取扱説明書を参照してください(当社ホームページからダウンロードしてください)。

- ローカルノードもデジタル局で、GM 機能を動作させている必要があります。
- GM 機能をご使用の前に、[WIRES-X] を押して A バンド(上段)の通信モードを「FM」以外にしてください。詳しくは、基本編取扱説明書の『通信モードを切り替える』を参照してください。

ローカルノードをグループに登録する

1 ローカルノードのコールサインを確認しておく
2 A バンドを GM 運用の周波数に合わせる
3 [GM] を押す

グループリストが表示されます。

4 [DIAL] をまわして「ALL」を選ぶ
5 [ENT] を押す

近隣の他局のコールサインと距離、方位が表示されます。

参考 交信圏内の無線局は反転表示されます。

6 [DIAL] をまわしてローカルノードを選ぶ
7 [ENT] を押す

ローカルノードのコールサインが点滅します。

8 [ENT] を 1 秒以上押す

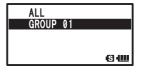
グループリストが表示されます。

9 DIAL をまわしてローカルノードを登録したいグループを選ぶ

10 ENT を押す

ローカルノードが選んだグループに追加されます。

11 GM を押す

周波数表示画面に戻ります。

ローカルノードをグループメンバーに登録したあとで SYNC 機能を使えば、ほかのメンバーの無線機からもローカルノードを確認できるようになります。詳しくは別途用意している GM 編の取扱説明書を参照してください。

GM 運用中の WIRES-X のニュース機能を使う

1 DIAL をまわしてグループリストから交信圏内のノード局を選ぶ

2 ENT を 1 秒以上押す

ノード局のメニューリストが表示されます。

3 『WIRES-X のニュース機能を使う』に従って操作してください。

周波数を確認する

グループリスト画面、または WIRES-X 画面を表示中に DW V/M を押すと、GM を使う前に表示していた周波数画面に切り替わります。

もう一度 DW V/M を押すと、グループリスト画面、または WIRES-X 画面に戻ります。

グループリスト画面に戻る

WIRES-Xの画面を表示中に MONO/DUAL A/B を1秒以上押すと、グループリスト画面に戻ります。

WIRES-X セットモード一覧

メニュー / 項目	機能説明	選択できる項目 （太字は工場出荷時の値）
1 LANGUAGE	セットモード、メニューなどの日本語 / 英語の切り替え	**JAPANESE：日本語** / ENGLISH：英語
2 RPT/WIRES FREQ	レピーター /WIRES-X の運用周波数の設定	**MANUAL** / PRESET
	プリセット周波数の設定	144.000 ～ 146.000 **145.780** 430.000 ～ 440.000 **438.980**
3 SEARCH SETUP	ノード / ルーム一覧の表示順の設定	**HISTORY** / ACTIVITY
4 EDIT CATEGORY TAG	カテゴリー名の編集	C1 ～ C5
5 REMOVE ROOM/NODE	登録されたノード / ルームの削除	C1 ～ C5 1 ～ 20 件

WIRES-X セットモードを使う

画面に表示する言語の設定

画面に表示する言語を「日本語」「英語」から選べます。

1 [SET DISP] を 1 秒以上押す

セットモードに切り替わります。

2 [DIAL] をまわして「7 WIRES-X」を選ぶ

3 [ENT] を押す

メニューリストが表示されます。

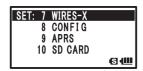
4 [DIAL] をまわして「1 LANGUAGE」を選ぶ

5 [ENT] を押す

選択項目が表示されます。

6 [DIAL] をまわして「JAPANESE：日本語」または「ENGLISH：英語」を選ぶ

7 [PTT] を押す

周波数表示画面に戻ります。

レピータ /WIRES-X の運用周波数の設定

ローカルノードに接続するときに使う周波数をどのように設定するかが選べます。

1 SET DISP を 1 秒以上押す

セットモードに切り替わります。

2 DIAL をまわして「7 WIRES-X」を選ぶ

3 ENT を押す

メニューリストが表示されます。

```
SET: 7 WIRES-X
     8 CONFIG
     9 APRS
    10 SD CARD
```

4 DIAL をまわして「2 RPT/WIRES FREQ」を選ぶ

5 ENT を押す

選択項目が表示されます。

```
2 PRT/WIRES FREQ
3 SEARCH SETUP
4 EDT CATEGORY TAG
5 REMOVE ROOM/NODE
```

6 DIAL をまわして「MANUAL」または「PRESET」を選ぶ

DIAL をまわすたびに「MANUAL」と「PRESET」が切り替わります。

MANUAL：ローカルノードを探す周波数をそのつど設定します。

PRESET： ローカルノードを探すときはいつも、このあとの手順で設定した周波数を使います。

「PRESET」を選んで ENT を押すと、周波数を選ぶ画面が表示されます。

```
2 PRT/WIRES FREQ

► PRESET
```

7 DIAL をまわして周波数を選ぶ

参考 DIAL を回すと、セットモードで設定したステップ周波数ごとに変化します。MW F を押して DIAL を回すと 1MHz ずつ変化します。

```
2 PRT/WIRES FREQ

  145.600
```

8 PTT を押す

周波数表示画面に戻ります。

参考 SCOPE BND DN BAND を押すと、プリセット周波数のバンドが切り替わります。

ノード / ルーム一覧の表示順の設定

インターネット上の接続先の一覧をソートする条件が選べます。

1 SET DISP を 1 秒以上押す

セットモードに切り替わります。

2 DIAL をまわして「7 WIRES-X」を選ぶ

3 ENT を押す

メニューリストが表示されます。

4 DIAL をまわして「3 SEARCH SETUP」を選ぶ

5 ENT を押す

選択項目が表示されます。

6 DIAL をまわして「HISTORY」または「ACTIVITY」を選ぶ

DIAL をまわすたびに「HISTORY」と「ACTIVITY」が切り替わります。

HISTORY：自局が接続した時期が遅い順に、接続先を表示します。

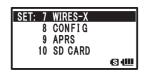
ACTIVITY：接続中のノードが多い順に、ルームを表示します。また、ノードはルームのあとに表示します。

7 PTT を押す

周波数表示画面に戻ります。

カテゴリー名の編集

ノードやルームを登録する 5 つのカテゴリーに、16 文字までの名前をつけることができます。

詳細は『ノードやルームを登録する』(16 ページ)を参照してください。

登録されたノード / ルームの削除

5 つのカテゴリーに登録したノードやルームを消去できます。

1 SET DISP を 1 秒以上押す

セットモードに切り替わります。

2 DIAL をまわして「7 WIRES-X」を選ぶ

3 ENT を押す

メニューリストが表示されます。

SET: 7 WIRES-X
8 CONFIG
9 APRS
10 SD CARD

4 DIAL をまわして「5 REMOVE ROOM/NODE」を選ぶ

5 ENT を押す

カテゴリーの一覧が表示されます。

5 REMOVE ROOM/NODE
1 LANGUAGE
2 RPT/WIRES FREQ
3 SEARCH SETUP

6 DIAL をまわしてカテゴリーを選ぶ

7 ENT を押す

接続先の一覧が表示されます。

8 DIAL をまわして接続先を選ぶ

9 ENT を押す

削除確認画面が表示されます。

10 DIAL をまわして「OK?」を選ぶ

11 ENT を押す

接続先が削除され、一覧に戻ります。一覧の下にあった接続先が 1 つずつ繰り上がります。

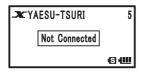
5 REMOVE ROOM/NODE
JQ1YBG-TT
OK?
Cancel

12 PTT を押す

周波数表示画面に戻ります。

エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ、およびエラーの内容を示します。

ローカルノードや接続先ノードから情報を取得しようとしたときに、情報が存在しなかった場合に表示されます。
エラーメッセージは 2 秒間表示され、その後、元の画面に戻ります。

次のどちらかの場合に表示されるエラーメッセージです。2 秒間表示されます。

- ローカルノードと接続先のノードとの接続が切断された。
- ローカルノード経由で他の無線機が接続を試みたノードが、すでに別のノードと接続中だった。

ローカルノード経由で接続しようとしたノードが他のノードと接続中の場合に、2 秒間表示されます（他ユーザーによる場合を除く）。

ローカルノード経由で接続しようとしたノードが何らかの理由（電源 OFF、ネット未接続、など）で存在しない場合に、2 秒間表示されます。